

農林漁業のうごき

京都府 No.190 令和3年

京都府立農業大学校 創立100周年記念式典
 ～約3300人の卒業生を輩出 府の農業発展に多大な貢献～



100周年記念石碑を囲んで記念撮影（裏表紙に関連記事）



学生の実習風景（上・下）

内容

特集

- 農林水産業功労者・農山漁村伝承優秀技能・若手農林漁業者が表彰・認定されました
 ～令和3年度京都府農林水産業功労者表彰等授与式～……………2～3
- 農林水産部 令和3年度補正予算の概要
 ～京の雪見膳 好評発売中！/「京の食」オンラインマルシェ 開催予定～……………4～5
- 集落を越えた新しい営農体制の構築を目指して～集落連携100ha農場づくり事業の取組状況～……………6
- 市町村の森林経営管理制度の取組を支援しています……………7
- 京都の新しいお米「京式部」販売開始……………7
- “できる”から始まる楽しい食育ムービーを制作……………8
- ツキノワグマの狩猟再開について……………8
- 森林施業の低コスト化に向けた実証事業を府有林で実施中……………9
- 新たな水産資源管理に対応するため海洋調査船を建造します……………9

トピックス

- 京都食ビジネスプラットフォームの立ち上げ/府民税を活用した防災対策の支援/
 府内最大の採卵鶏農場が「農場HACCP認証」を取得/京の畜産応援隊を結成/
 京の農林女子ネットワーク キャリアアップ講座スタート/
 次世代農業の担い手確保に向けた取組……………10～11

シリーズ

- 農林水産技術センターの研究紹介 第14回 農林センター/海洋センター……………12

地域の取組

- 京やましろ産「えびいも」×「未来の料理人」!/山城産の新メニューを動画配信!/
 ドローンでスマート化! 効率的な広域有害鳥獣捕獲の実施/「そば」の種まき作業を実施/
 農業者と福祉事業所のマッチング～農福連携の取組～/
 『食の京都』 たんご de Marché ～たんご秋祭りin丹後王国～を開催!……………13～15

シリーズ

- 学び舎へようこそ! 第1回 京都府立農業大学校……………16


 特集
1

農林水産業功労者・農山漁村伝承優秀 ～令和3年度 京都府農林水

令和3年11月27日(土)、京都市伏見区の京都パルスプラザにおいて、京都府農林水産業功労者表彰等授与式を開催しました。この中で、多年にわたり、府内の農林水産業及び農山漁村の振興と発展に功労のあった方々や、農林水産業の経営改善や農山漁村地域の活性化に意欲的に取り組み、地域の担い手として期待される方々に表彰を行いました。また、同時に、農山漁村地域において伝統的に受け継がれてきた生産・生活技能に優れた方々を農・山の「匠」として認定しました。

❖ 農林水産業功労者表彰 ❖

(敬称略)

経営改善に取り組み、他の模範となり農林水産業の振興・発展に顕著な貢献をした方々

井上 吉夫／綾部市	今中 睦美／宮津市	梅田 佳泰／京丹後市
加藤 紀一郎／福知山市	鎌田 幸男／向日市	河畑 宏司／舞鶴市
河原崎 博之／久御山町	菊岡 秀展・るみ子／城陽市	北川 邦彦・小百合／八幡市
塩貝 孝司／南丹市	西村 裕／久御山町	野木 武／京丹後市
樋口 昌孝／京都市	森山 繁・加代子／宇治田原町	茂籠 進／与謝野町
湯浅 洋次／南丹市	株式会社アグリテックいかる／綾部市	農事組合法人河原林／亀岡市
株式会社篠宮会／綾部市	有限会社みずほファーム／京丹波町	

新品種開発・新事業開拓に取り組み、農林水産業の振興・発展に顕著な貢献をした方々

今川 敏夫／京丹波町	川戸 信司／京丹後市	木枝 幹治／綾部市
佐々木 卓／京都市	塩尻 泰一／綾部市	高倉 清／綾部市
平井 一三／京丹波町	藤岡 静子／与謝野町	山本 一善／長岡京市
有限会社グリーンファームソーゴ／福知山市		

女性の地位向上のための活動に取り組み、農林水産業の振興・発展に顕著な貢献をした方々

青木 美恵／京丹後市	宇野 朝子／京丹後市	岡嶋 とし子／京丹後市
そねっと合同会社／京丹波町		

団体の役員として団体の発展や、農林水産業の振興・発展に顕著な貢献をした方々

足立 勝之／福知山市	岩田 恵一／京丹波町	上田 徳藏／宇治田原町
大江 義昭／福知山市	片山 義久／南丹市	金子 惇信／綾部市
澤田 晶介／亀岡市	西村 昭雄／綾部市	西村 義一／南丹市
藤井 昇二／長岡京市	古川 與志次／城陽市	山本 源兵衛／京都市
湯浅 勲／南丹市	渡辺 孝史／京都市	社会福祉法人幸の会七彩の風／京都市
宮津なまこ組合／宮津市		

農山漁村における地域資源を活用した活動に取り組み、農山漁村の活性化に顕著な貢献をした方々

加藤 雅美／京田辺市	高尾 庄一／京丹後市	野間 和幸／京丹波町
株式会社アグリイベリス／舞鶴市	丹後樹苗生産組合／京丹後市	

農政課 総務係 TEL : 075-414-4947

技能・若手農林漁業者が表彰・認定されました 産業功労者表彰等授与式～

❖ 農山漁村伝承優秀技能認定 ❖

(敬称略)

農山漁村地域において伝統的に受け継がれてきた生産・生活技能に優れた方々

【農の匠】

内田 修／綾部市
 軽尾 一雄／京丹波町
 銭谷 武志／京都市
 大槻 孝宏／綾部市
 杉本 賢／綾部市
 三野 悟／伊根町

【山の匠】

井之本 泰／宮津市
 栞原 稔／京丹後市

農産課 農業応援伴走支援係 TEL：075-414-4957

❖ 若手農林漁業者表彰 ❖

(敬称略)

農林水産業の経営改善等に取り組み、地域の担い手として期待される方々

池田 満／京丹後市	泉 陽一／舞鶴市	菊岡 正博・愛子／城陽市
久保添 公哉／宮津市	小島 敬久／亀岡市	小島 康稔・晶子／宇治市
小山 愛生・有美恵／宮津市	四方 尚人／綾部市	清水 大介／京都市
銭谷 裕志・麻友未／京都市	高田 潤一朗・深幸／京都市	伊達 直人／与謝野町
長澤 稔典／京都市	西山 生光／和束町	西山 秀人／綾部市
野木 久聖／京丹後市	林 宏明／京都市	藤原 明生／伊根町
松崎 伸也／南丹市	村岸 豊／京丹波町	山野 賢一郎／京丹後市
吉岡 大治朗／南山城村	吉田 圭吾／八幡市	綿井 裕幸／南丹市
渡辺 雄人・民／京都市		

経営支援・担い手育成課 新規就業・人材育成係 TEL：075-414-4912

受賞者からひとこと

農林水産業功労者表彰 農事組合法人河原林 代表理事 加藤 邦廣 様

この度、身に余る栄誉を頂き、農事組合法人河原林代表理事として、心から喜び感謝しています。

受賞を励みとして、今後より一層の作業効率の向上や高度生産技術改革を進め、組合員の高所得並びに兼業農業者及び後継者の育成を図り、地域農地の荒廃防止に努めるとともに、京都の農業発展と京都ブランドの推進に、努力していく所存でございます。



受賞者からひとこと

若手農林漁業者表彰 渡辺 雄人 様・民 様

この度は、名誉ある賞をいただきまして誠にありがとうございます。この栄誉をいただきましたのも、農業を御指導いただいた師匠や地域の皆様、切磋琢磨してきた仲間たちのおかげだと感謝しております。今回の受賞を糧に、益々技術を磨いて精進するとともに、次の世代の育成にも努めてまいりたいと思います。



特集
2

農林水産部 令和3年度補正予算の概要

新型コロナウイルス感染症のまん延に伴う外食需要の長期低迷などの影響に対して、府内産農林水産物や加工品の生産継続・需要喚起・販路確保を図るための取組や、令和3年8月の長雨等の影響により、厳しい経営状況にある農業者等の生産回復・経営再開を図るため、令和2年度2月補正予算から計9回、合計11億5,000万円の補正予算を計上しました。

令和2年度2月補正予算(冒頭(2月12日)提案分)

- 府内産農産物継続生産支援事業費 ……【4,000万円】
農産物の生産継続と産地の維持を図るため、農業者が組織する団体が行う品目転換や農産物の再生産に向けた取組を支援
- 「観光・伝統・食関連」産業連携事業緊急支援費 ……【5億円】
※商工労働観光部と共管 (商工労働観光部で計上)
新型コロナウイルス感染症により、深刻な打撃を受ける観光、伝統、食関連産業が、コロナ禍の難局を乗り越えるために、複数企業が連携して行う工夫を凝らした取組を支援

令和3年度4月補正予算(4月30日提案分) / 8月補正予算(8月6日提案分) / 11月補正予算(11月30日提案分)

- 「京の食」新型コロナウイルス感染症危機克服事業費 ……【4億8,000万円】
京のブランド産品等を使用した「京の食」プレミアムフードの製造・販売に係る取組等を支援
(販売価格2万円相当の商品を1万円で販売)

京の雪見膳 好評発売中!

京都府産農林水産物を使用した季節の御膳、ミールキット等と、京の酒、宇治茶、京漬物がセットになった「京の雪見膳」が絶賛発売中です。

この度、京都府産丹波大納言を使用した小豆菓子もセットに加わり、さらに豪華になりました。

この取組は、新型コロナウイルス感染症により影響を受けている府内の食関連産業関係団体の皆様との連携により実現しました。

総額2万円相当の商品を1万円で購入できる特別企画です。

期間限定ですのでお早めにお買い求めください。



季節に合わせて、「京の涼風膳」(夏)
「京の錦秋膳」(秋)も販売しました

<https://premiumfood.stores.jp/>

京の雪見膳

検索

流通・ブランド戦略課 ブランド推進係 TEL: 075-414-4941

令和3年度6月補正予算(6月17日提案分)

- 新型コロナウイルス感染症危機克服戦略推進事業費(うち危機克服緊急連携支援事業費) ……【6億円】
※商工労働観光部と共管 (商工労働観光部で計上)
事業継続の危機に瀕する企業等同士が助け合い、深刻な局面を打開するための新たな事業に取り組む企業グループ等を支援

令和3年度6月補正予算(6月24日提案分)

- **安全な「京の食・観光」応援事業費** ……【43億6,000万円】
 ※商工労働観光部と共管 (うち農林水産部所管分 3億6,000万円)
 安心・安全なコロナ対策に取り組む府内飲食店で府民が利用できるランチクーポン券を発行
 (1セット10,000円のクーポン券を5,000円で販売)

令和3年度9月補正予算(冒頭(9月15日)提案分)

- **「京の食」流通事業者緊急支援事業費** ……【2,000万円】
 府内産農林水産物や加工品の魅力を発信するオンラインマルシェ等を開催し、各事業者が開設するECサイトを集約して発信するとともに、府内料理店の協力により作成した家庭向けレシピの動画配信等で、農林水産物や加工品の販売機会を創出

「京の食」オンラインマルシェ 令和4年1月上旬から開催予定!



府内産農林水産物やその生産者、京の食文化等の情報を発信しているポータルサイト「京の食」オンラインマルシェにて、京都市中央卸売市場で取り扱いのある農林水産物のセット販売やオンライン料理教室などのオンラインイベントを順次実施しますのでご注目ください。

<https://kyotofes.kyoto>

京の食オンラインマルシェ

検索

流通・ブランド戦略課 ブランド推進係 TEL: 075-414-4941

- **農業者等営農継続緊急支援事業費** ……【5,000万円】
 令和3年8月の長雨等の影響により、厳しい経営状況にある農業者等の生産回復・経営再開に向けた取組を支援

令和3年度9月補正予算(10月6日提案分)

- **「京の米」流通促進緊急対策事業費** ……【1億円】
 外食需要の長期低迷により、全国的に米価が下落する中、府内産の米価も下落し、米生産の継続が困難な状況となっていることから、販路開拓や販路先確保の取組等について幅広い稲作農家を緊急的に支援

令和3年度11月補正予算(12月10日提案分)

- **「食の京都」需要拡大促進事業** ……【1億円】
 府内各地の「食の京都TABLE」、道の駅、農産物直売所等や京都駅前及び首都圏において、「食の京都」を掲げた府内産農林水産物や加工品を集めた需要拡大イベントを開催

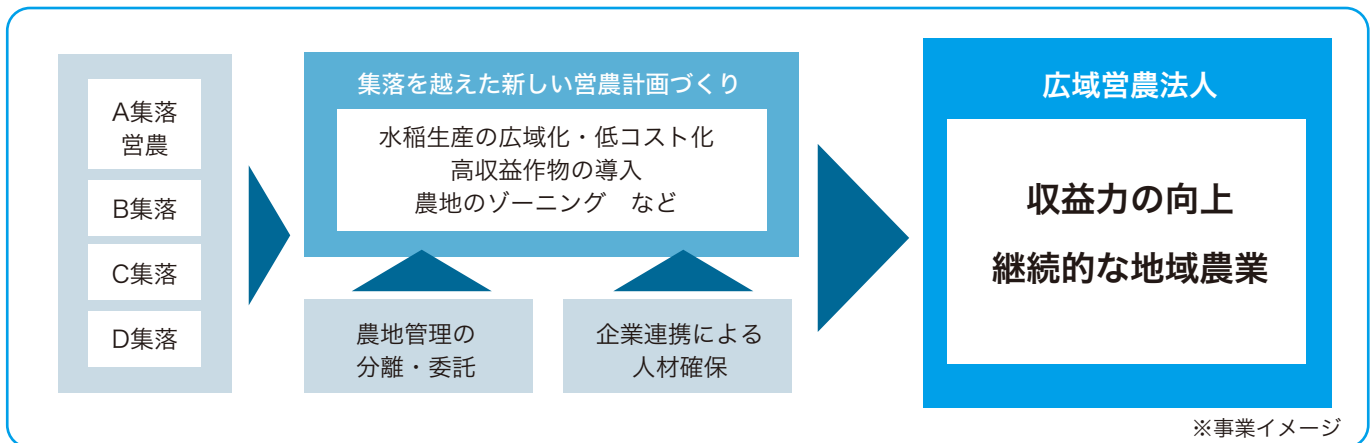
農政課 経理係 TEL: 075-414-4948

特集
3

集落を越えた新しい営農体制の構築を目指して～集落連携100ha農場づくり事業の取組状況～

府内の集落営農の多くは、単一集落での水稲を中心とした営農に留まっており、経営規模が小さく、収益力の向上が課題となっています。また、農業者の減少及び高齢化により、人材不足が深刻化しています。

今年度から、「複数集落単位での広域的な営農体制の構築」とともに、「農地管理の外部委託」や「企業連携による人材確保」を通じて、持続可能な地域農業を創出するため、「集落連携100ha農場づくり事業」をスタートしました。



複数集落による営農計画づくりに向けて

複数集落が連携して営農する体制の構築には、地域の関係者の合意形成が大切となります。

現在、府内各地で新たな広域営農計画づくりに向けた話し合いが行われており、京都府が市町村や関係団体と一体となってサポートしています。



地域の役員と関係機関による話し合いの様子

草刈り等の農地管理の負担軽減に向けて

営農の広域化に当たっては、畦畔の草刈り等の「農地管理」の負担軽減も大きな課題となっており、「農地管理」を「営農」と分離し、外部委託する手法の確立を目指す取組を進めています。

今年度は、多大な労力を要する畦畔などの草刈り作業を軽減するラジコン草刈機の現地見学会を実施するとともに、導入した場合のコスト低減効果を実証しています。

実証結果を踏まえて、農地管理を専門かつ広域に請け負う事業体の設立を支援し、集落営農組織の広域化と採算性向上を支援していきます。



ラジコン草刈機 現地見学会の様子

ラジコン草刈機
デモ動画→



経営支援・担い手育成課
農村振興課

地域営農推進係
里力再生係

TEL：075-414-4908
TEL：075-414-4906

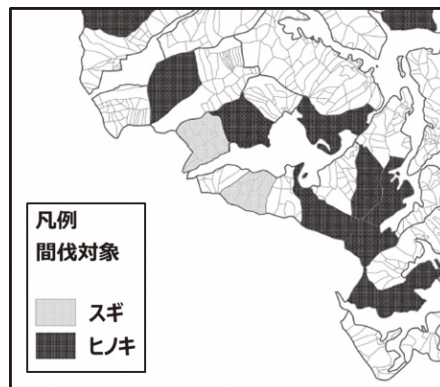
特集 4

市町村の森林経営管理制度の取組を支援しています

府内市町村では、森林経営管理制度^(※)により、手入れが行われていない人工林を整備する取組が進められていますが、多くの市町村では、林業専門職員が不足しています。

このため京都府では、市町村に対して、森林資源や路網配置等の施業の集約化等に必要な情報の提供や、取組状況に応じた助言を行うなど、昨年度設立した（一財）京都森林経営管理サポートセンターと連携し、伴走支援しています。

その結果、今年度は21の市町村で取組が進められ、そのうち7つの市町村で森林整備への着手が予定されています。



情報提供の例
市町村の集約化計画の作成に活用される
間伐が必要な森林の位置図

(※) 森林経営管理制度とは・・・現在、手入れが行われていない森林について、市町村が森林所有者の意向を確認した上で、林業経営に適した森林は、集積・集約化し、林業事業体に整備を委ね、経営に適さない森林は、市町村が災害防止のための間伐等を行うことで、適切な森林の管理を実現していくための制度です。

森の保全推進課 企画・計画係 TEL：075-414-5016

特集 5

きょうしきぶ 京都の新しいお米「京式部」販売開始

令和3年産から本格的に栽培を開始した、お米の新品種「京式部」の提供や販売が、10月から京料理店、百貨店、米穀店、京都生協で始まりました。さらに10月から12月にかけて、「京式部」を皆さんに知っていただき、親しんでもらうため、『「京式部」新米フェア』を開催しました。



百貨店での「京式部」新米フェアの様子

今後は、京都府民の方々をはじめ、京都を訪れる観光客にも、広く「京式部」を味わっていただけるように、全国の料亭や百貨店などへの普及・拡大を図り、京都産米をけん引する、ブランド米として育成していきます。



米のシルエットの中に紫式部の様な平安の女性をイメージできるデザインのロゴマーク

農産課 京の米・豆・保険係 TEL：075-414-4955

特集
6

“できる”から始まる楽しい食育ムービーを制作

仕事や家事に忙しい「子育て世代」の家庭で、手軽に子どもたちと一緒に料理を楽しめる食育ムービーを制作しました。

料理研究家の大原千鶴氏、同志社女子大学教授の小切間美保氏に出演いただき、子どもたちが挑戦したくなる“簡単で美味しいレシピ”や、“子どもが料理することの意義”、“家庭で食育を実践するためのノウハウ”を紹介しています。

料理は、子どもたちにとって、好奇心を呼び起こす遊びです。

「野菜をちぎる」、「たまごを割る」といった、任された作業を達成することが、「できた！」の楽しさに繋がりますので、家庭で“できる”ことから気軽に「楽しい食育」をはじめましょう。

動画は京都府HPからご覧いただけます。

京都府 食育ムービー

検索



子どもたちが楽しく料理に取り組む様子



トマト入りたまご丼（簡単で美味しいレシピ）

農政課 食の安全・食育係 TEL：075-414-5654

特集
7

ツキノワグマの狩猟再開について

ツキノワグマの生息数増加により、京都府のレッドリストにおけるカテゴリーが「絶滅寸前種」から「要注目種」に変更されたことを受けて、令和3年11月15日からツキノワグマの狩猟を再開しました。

狩猟時における注意事項

- ツキノワグマの乱獲を防ぐため、猟法は銃猟のみです。
京都府では、生息数を把握するための調査をしていますので、捕獲された場合は、処理される前に農村振興課（090-4657-1417）へ連絡してください。
- 手負いとなったツキノワグマが集落等に出没すると大変危険ですので、集落近くでの発砲を控えるとともに確実に仕留める配慮をお願いします。
- わなを使用する捕獲方法は、法令により禁止されています。なお、くくりわなの規格に関する規制に変更はありません。



山林に入る時の注意事項

京都府のホームページなどで目撃情報を確認し、クマが出没した場所には近づかないでください。また、ラジオや熊よけの鈴などを携帯してください。

農村振興課 野生鳥獣係 TEL：075-414-5029

特集 8

森林施業の低コスト化に向けた実証事業を 府有林で実施中

スギ等の人工林の約7割が利用可能な時期を迎える中、森林が持つ多面的機能を維持し、持続可能な資源として、次代へ引き継ぐためには「植えて、育てる」ことが必要です。

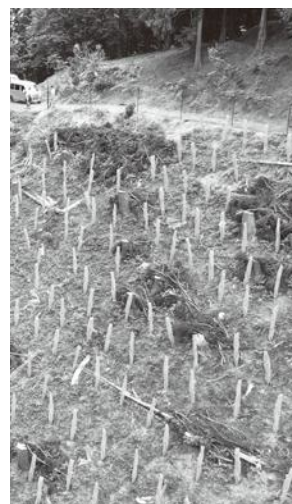
そこで、令和2年度から府有林において、植栽や育林のコスト低減を目指した実証事業を行っています。

伐採後直ちに植栽を行う「一貫施業」やスギ等よりも成長が早く短期間で伐採できる「早生樹」の植栽により、地拵え^{じこしらえ}(※1)、植栽、下草刈り等のコスト削減が期待されます。

今後も調査を継続し、成果を関係者の皆様に情報提供していきます。



早生樹の苗木(※2)



植栽地の様子

(※1) 伐採後に残された木の枝などを整理する作業

(※2) コウヨウザン（ヒノキ科コウヨウザン属）

林業振興課 林業振興・府有林係 TEL：075-414-5015

特集 9

新たな水産資源管理に対応するため 海洋調査船を建造します

京都府海洋調査船「平安丸」は、これまで海洋観測をはじめ、プランクトンや稚魚、ズワイガニの分布調査など、海や漁業の研究に長く活躍してきました。

船体の老朽化に加え、新たな水産資源管理に役立つ調査に対応するため、来年度の完成を目指して、今年度から新船を建造することとなりました。

新たな調査船では、海底地形を詳細に調べて可視化する装置や、操業中の漁具に取り付けて最大水深2,000mまでの映像を記録する水中カメラなど、最新機器を搭載する予定です。

これからの水産業の振興に大いに役立つことが期待されています。



船齢24年を迎えた海洋調査船「平安丸」

水産課 漁政企画係 TEL：075-414-4992

トピックス

「京都食ビジネスプラットフォーム」を立ち上げました

「産・学・公」が連携し、食に関わる多様な業種の事業者をつなぐことで、付加価値の高い新商品・新サービスの創出を進めるため、「京都食ビジネスプラットフォーム」を設置しました。

業種を超えた会員同士の交流・連携を図るとともに、食関連のトピックスに係る研修会や補助事業の情報提供等を実施しますので、ぜひ幅広い事業者の皆様の参画をお待ちしております。

京都食ビジネスプラットフォーム

検索



キックオフイベント(11/2開催)の様子

流通・ブランド戦略課 ブランド推進係 TEL：075-414-4971

豊かな森を育てる府民税を活用し、防災対策を支援しています

近年、台風や集中豪雨による山地災害が多発するとともに、大雨で倒木が河川に流出し、下流地域での浸水被害も発生しています。

こうした災害を未然に防止するため、京都府では市町村と協力して、豊かな森を育てる府民税を財源とした「地域とつくる安心・安全な森整備事業」により、保安林等で地域住民の皆様が取り組む倒木撤去などの対策を支援しています。



事業実施前の状況
(倒木等が散乱)

事業実施後の状況(倒木等が整理)

森の保全推進課 森林土木係 TEL：075-414-5028

【情報提供】静岡県熱海市で発生した土石流災害を踏まえて

森林内での盛土箇所の総点検を実施し、全箇所の安全を確認しました。引き続き、府民の安心・安全の確保に向けた取り組みを行っていきます。

森の保全推進課 保全指導・保安林係 TEL：075-414-5030

府内最大の採卵鶏農場が「農場HACCP認証」を取得しました

畜産物の安全性確保のための第三者認証制度である「農場HACCP認証」の取得を目指す畜産農場に対して、技術支援を行っています。

この度、府内最大規模の採卵鶏農場である有限会社三和鶏園三和農場（福知山市）が、府内で3農場目、中丹管内で2農場目となる「農場HACCP認証」を取得しました。

今後も畜産農場の認証取得に向けて支援を継続してまいります。



現地審査の様子

畜産課 家畜衛生係 TEL：075-414-4985



「京の畜産応援隊」を結成しました

畜産農家の法人化支援をはじめとして担い手の発掘から定着、経営の安定化までを一貫して支援するため、京都府、関係団体・機関、市町村などオール京都で組織する「京の畜産応援隊」を令和3年12月に結成しました。

畜産農家それぞれの状況に合わせ、きめ細やかな伴走支援を行うための体制を確立することで、京都府の農業生産額のうち約2割を占める畜産の持続的な発展を支えていきます。



「京の畜産応援隊」の活動イメージ

畜産課 畜産振興係 TEL：075-414-4983

京の農林女子ネットワーク キャリアアップ講座スタート

京の農林女子ネットワークでは、農業や林業に従事する女性の仲間づくりやスキルアップを図る活動を実施しています。

令和3年11月に「キャリアアップ講座」がスタート（計7回）し、第1回は、将来の経営ビジョン実現に向けた意見交換会を行いました。1月以降も、ブランディング戦略や農産加工など、すぐに役立つスキルが学べる講座を予定していますので、ぜひご参加ください。



過去の講座の様子 ※今期第1回はオンライン開催

京の農林女子

検索

農産課 農業応援伴走支援係 TEL：075-414-5989

次世代農業の担い手確保に向けた取組を行っています

農業系の府立高校（北桑田、木津、農芸、須知、丹後緑風、清新）や府内の大学生に対して、農業への就業や就農意欲を促進することを目的に、農業者等と連携し、体験や視察、講演会を開催しています。

学生からは「野菜を作ることの楽しさを知ることができた」「実際に働いている人の話は理解しやすくなった」等、農業の関心が高まった感想が聞かれました。



南丹市日吉町の農業者の指導の下モロッコいんげんの収穫作業を体験する北桑田高校美山分校の生徒

経営支援・担い手育成課 新規就業・人材育成係 TEL：075-414-4942

シリーズ 農林水産技術センターの研究紹介

第14回 農林センター・海洋センター

令和3年度に取り組んでいる研究を紹介します。

研究1：露地ネギ栽培における「べと病」を中心とした病害の予防技術の確立

府内では、平成28年～30年に3年連続して春季にネギの「べと病」が発生し、甚大な被害を受けました。

このため、農林センターでは、令和元年度から、伝染源からの発生を未然に防ぐ対策として、発生前に予防薬剤を散布する実証試験を行っています。

その結果、3月上旬から2種類の薬剤を使用し、体系的に予防することで、病害への効果が確認されました。

今後は、この防除体系を確立させ、露地ネギの生産安定を目指します。



予防薬剤の散布実証を行ったネギ生産ほ場の状況
 左上：予防薬剤を散布 右下：未散布
 (未散布では、病害により葉が枯れている)

農林水産技術センター 農林センター 環境部 TEL：0771-22-6494

研究2：画像認識による有用水産物検知システムの開発

海洋センターでは、ズワイガニやカレイなど、有用な水産物を効率的に漁獲するため、民間企業と連携して、海底の生物を分類・計測する人工知能システム(AI)の開発に取り組んでいます。

漁具を使わず、水中ビデオカメラで撮影した海底映像を活用することで、省力化を図ることが可能となります。

現状のAIでは、鮮明に写っていれば、ほぼ正確に種類を認識できますが、生物が砂に隠れたり海が濁っていたりすると、検出精度が落ちてしまいます。

深海の撮影環境は厳しいですが、引き続き、産公連携による実用化をめざします。



京都府沖の水深260mの海底で鮮明に撮影されたズワイガニ

農林水産技術センター 海洋センター 資源管理型漁業担当 TEL：0772-25-3076

地域の取組

山城

京やましろ産「えびいも」×「未来の料理人」!

～「えびいも」の美味しさを全国へ～

「京やましろえびいも王国プロジェクト」(山城広域振興局・JA京都やましろ・生産者部会で組織)では、将来全国で腕をふるう「未来の料理人」に数ある食材の中から京都府産を選択してもらえるよう、(公社)京のふるさと産品協会と連携し、(学)大和学園京都調理師専門学校において、山城産「えびいも」の魅力を紹介しました。

学生が授業の一環として運営するレストランのメニューに、山城産の「えびいも」や「こえびちゃん」が活用されたことで、一般の方々に味わっていただく機会となりました。

豊かな旨みがある「えびいも」と「こえびちゃん」をぜひお召し上がりください。



(左) 実習授業でえびいもを調理する学生の様子
(右) レストランで提供されたえびいも料理

京都調理師専門学校の
ブログで紹介→



山城広域振興局 農林商工部 農商工連携・推進課 TEL: 0774-21-2392

山城

『食の京都』京やましろ産食材提供店 山城産の新メニューを動画配信!

山城産食材を食べて楽しめる「京やましろ産食材提供店」(125店舗)では、山城地域の「いちおし食材」である、旬のえびいも、九条ねぎ、抹茶を使った新メニューの開発・販売に取り組んでいます。

また、産地の様子、シェフが考案した簡単にできる家庭料理や新メニューを紹介する動画も作成しており、1月下旬に完成する予定です。完成した動画は、動画配信サイトの他、山城地域の直売所やスーパーなどの食品売場、地域の食育講座などで活用していく予定です。



『えびいものピンチョス』
ナチュラルフレンチビストロ・ヨシムラ
(木津川市)



『ナンの九条ねぎまみれ焼』
舌にお礼を言わせたい 乱
(宇治市)



『抹茶葛「煉(れん)」』
おおつじ茶菓店
(宇治田原町)



『九条ねぎとベーコンのキッシュ』
アンプレシオンガトーシュクル
(城陽市)

食材提供店の
情報はこちら→



山城広域振興局 農林商工部 農商工連携・推進課 TEL: 0774-21-3212

南丹

ドローンでスマート化！その1 効率的な広域有害鳥獣捕獲の実施

南丹広域振興局では、野生鳥獣による農業被害軽減のため、スマート技術を活用した新たな有害鳥獣捕獲に取り組んでいます。

令和3年8月6日に南丹市八木町池ノ内地域において、京都府猟友会が発案し企業と共同開発した高性能ハンティングドローンを用いた広域有害鳥獣捕獲を府内で初めて実施しました。

当日は、猟犬の代わりにドローン3機を使用してシカを追い出し、12頭の捕獲に成功しました。

さらに、ドローンの利用によって実施後の猟犬の回収の手間が掛からないことも確認され、効率的な捕獲の実現に手応えを感じました。



ドローンの説明と作業前の安全確認の様子



猟犬の声を鳴らしながら飛行するハンティングドローン

南丹広域振興局 農林商工部 農商工連携・推進課 TEL：0771-22-0426

南丹

ドローンでスマート化！その2 「そば」の種まき作業を実施

府内最大の「そば産地」である京都丹波地域において、耕畜連携とスマート技術導入による持続的かつ収益性の高い「そば産地」づくりのため、稲WC S（稲発酵粗飼料）とそばの二毛作実証を行っています。

令和3年8月には、ドローンによるそばの種まき作業を実施し、作業時間の短縮や、高温時の作業者の負担軽減、さらには事前に作業位置を設定し自動飛行させることで種の散布ムラが出ないなど、その有効性が確認されました。

今後は、「京都丹波そばの里魅力発見講座」の開催や、お菓子や料理等での活用も進め、「そば」を京都丹波地域の観光コンテンツとして育てていく予定です。



ドローンが自動で種まき作業をする様子

南丹広域振興局 農林商工部 農商工連携・推進課 TEL：0771-22-0371

中丹

農業者と福祉事業所のマッチング ～農福連携の取組～

中丹東・西農業改良普及センターでは、農福連携を推進するため、昨年度から中丹地域内の農業者や福祉事業所へのアンケート調査を実施し、農業者と福祉事業所をマッチングする取組を始めています。

令和3年10月には、福知山市の農事組合法人「鬼の里農園」に福祉事業所「ナイン福知山」をマッチングし、小豆畑の草取りを委託しました。鬼の里農園の理事からは「鬼の里農園の作業員は高齢の方が多く、草取り作業は足腰に負担となるため、非常に助かる。機会があれば草取り以外の仕事も頼みたい。」との声が聞かれました。

今後も引き続き、農福連携の支援を進めていきます。



熱心に草取り作業を行うナイン福知山の皆さん

中丹広域振興局 農林商工部 中丹西農業改良普及センター TEL：0773-22-4901

丹後

『食の京都』 たんご de Marché ～たんご秋祭りin丹後王国～を開催！

令和3年11月13日（土）、道の駅丹後王国「食のみやこ」で、丹後地域のいちおし食材を中心に、丹後の魅力を発信する『食』のイベントを開催しました。

丹後地域いちおしの農作物・加工品等を販売する「丹後いちおしマルシェ」、きょうと食いく先生による「丹後いちおし食材料理Live」、「丹後のこだわり人トークセッション」を行いました。

また、棚田やため池の役割学習やeバイク試乗などの体験コーナーも大盛況でした。

総勢3,457名の方に来場いただき、『食』を中心とした丹後の魅力を満喫していただきました。



丹後のいちおし食材などを販売している様子



トークセッションの様子

丹後広域振興局 農林商工部 農商工連携・推進課 TEL：0772-62-4315

シリーズ 学び舎へようこそ！ ～第1回 京都府立農業大学校～

今回から、京都府の農林水産業の担い手育成の取組についてインタビューを交えて紹介します

◆◆◆ 農業大学校 創立100周年 ◆◆◆

京都府立農業大学校は、令和2年に創立100周年を迎え、100年の歴史を振り返り、これからの100年に繋げるため、令和3年11月13日に記念式典、記念石碑除幕式等を開催しました。

この長い歴史は、大正9年に、大日本農会等の農業技術員養成を主目的に、現在の京都市左京区下鴨にあった京都府立農事試験場内で発足した農業練習生制度に始まり、高等農業講習所へと変遷しました。一方で、農村経済更正運動の中で中堅農業者を育成する何鹿農道館いかるがが昭和15年、その後、現在の綾部市に設立され、農業指導所研修部へと発展し、この2つの教育施設が、昭和48年に京都府立高等農業講習所として統合され、昭和56年に現在の京都府立農業大学校となったところです。

これまでに卒業した3,300名余りの方々は、現在、京都府の農業を牽引する経営者として、また、地域の指導者として、第一線で御活躍いただき、農業の発展に大きく貢献されています。

平成21年度には、京野菜と宇治茶の担い手育成に特化するとともに、実習の割合を高めたカリキュラムに再編し、ICT技術の活用など、新時代に対応できる経営感覚を持った担い手の育成や、地域を支える多様な担い手を確保するための教育・研修など引き続き取り組んでまいります。



在校生に「農業大学校の良さ」を聞いてみました

「実習が多いため座学で学んだことをすぐに実践できる」「座学も実習も専門的で、主体的に関わっている実感が持てる」と実習中心のカリキュラムが好評です。

また、寮生活では、「先輩に教えてもらうことが多くて楽しい」「炊事や洗濯などが大変で、親への感謝の気持ちが強くなった」と成長を感じる一面も見られました。

「農大と地域との交流を深めたい」「スマート農業機械に触れたい」など前向きな考えも聞かせてくれ、頼もしく思いました。



生産実習の中でも収穫は最高に楽しい作業

経営支援・担い手育成課 新規就業・人材育成係 TEL：075-414-4942

きょうと
食の安心・安全フォーラム
京の食 知って広がる 笑顔と安心
京都の食品関連事業者等から、食の安心・安全に関する取組を紹介いただき、京都の「食」についての意見交換を行います。
令和4年2月1日(火) 13:30～15:30
オンライン会場：ZOOMウェビナー
会場：京都リサーチパーク イノベーションルーム
※会場定員10名
参加無料
参加者募集中！
【応募締切】令和4年1月18日(火)
食の安心・安全フォーラム 検索

令和4年度 農大・林大の学生募集
願書受付期間
農業大学校 一般入試(後期)
令和4年1月21日(金)～2月2日(水)
【お問い合わせ】0773-48-0321
林業大学校 一般入試(第3回)
令和4年1月5日(水)～1月26日(水)
【お問い合わせ】0771-84-2401
京都府の農業や林業の担い手を目指す方の応募をお待ちしています。

鳥インフルエンザ対策の徹底を！
～鶏やアヒルを飼っておられる皆様へ～
① 野鳥の食物源となる果樹などはなるべく近くに植えない。
② 鳥小屋の防鳥ネットは2cm角以下にし、適時補修する。
③ 飲み水は水道水を使用し、野鳥のエサ場とならないよう飼料の管理をきちんとする。
④ 鶏舎周囲は草刈りや舗装等をし、野鳥や野生動物が常在する環境を作らない。
お問い合わせは、最寄りの家畜保健衛生所へ

発行/令和3年12月
編集/〒602-8570
京都市上京区下立売通新町西入 京都府農林水産部農政課
TEL：075-414-4898 E-mail：nosei@pref.kyoto.lg.jp
京都府人権啓発イメージソング「世界がひとつの家族のように」は、「お互い支え合うことの大切さ」をイメージした歌です。歌い広め、「いま、わたしたちにできること」を考えてみませんか。
公式ホームページ
<https://kyoto-jinken.net/imagesong/>